



2026年10月期 第3四半期

決算補足資料

正栄食品工業株式会社
(証券コード 8079 東証プライム市場)

I. 2026年10月期 第3四半期業績報告

II. 2026年10月期 業績予想

業績ハイライト（11-7月）



- ◆ 売上高につきましては、原料価格上昇に対応した価格引上げ等もあり、日本、米国、中国のすべてのセグメントで増収となり、また品目別でも菓子・リテール商品類以外の品目で増収となったことから、前年同期比で+7.1%の増収となりました。
- ◆ 利益につきましては、販売価格の上昇等などにより売上総利益が増加したことから、営業利益は同+13.6%の増益、経常利益は同+14.0%の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益については同+35.1%の増益となりました。

単位：百万円

	FY25/Q3	FY26/Q3	増減金額	前年同期比
売上高	94,526	101,320	+6,795	+7.1%
売上総利益	15,104	15,881	+777	+5.1%
営業利益	4,218	4,793	+575	+13.6%
経常利益	4,265	4,864	+599	+14.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,605	3,520	+915	+35.1%
売上高営業利益率	4.4%	4.7%	—	—

為替レート	： 米ドル	144.81円	162.39円
	： 中国元	20.19円	23.87円
	： 香港ドル	18.44円	20.71円

業績推移

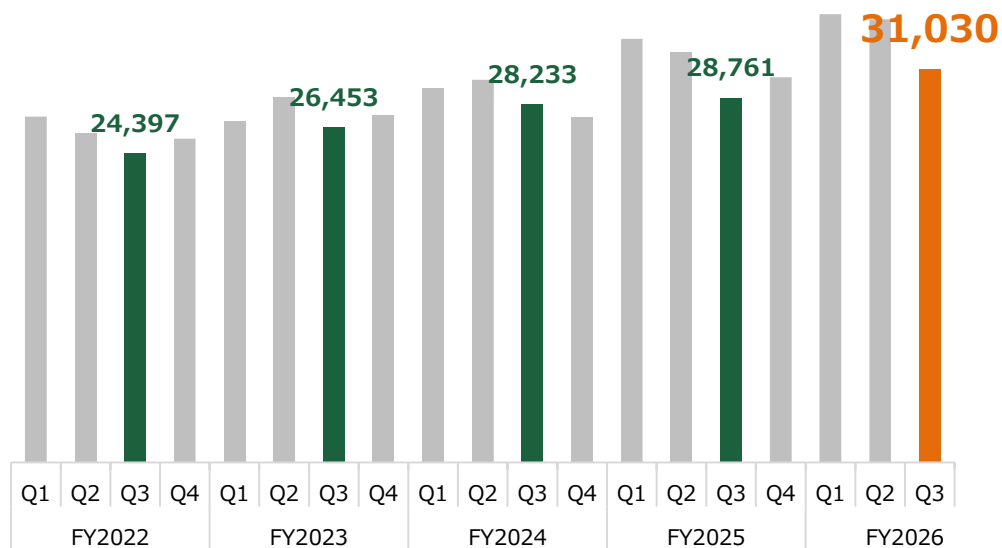
売上高と売上総利益

ShoEi

- ◆ 売上高（5-7月）は前年同四半期比+7.8%増収となり、Q3として初めて300億円を超え最高売上高更新となりました。
- ◆ 売上総利益（5-7月）は原価率上昇の影響で前年同期比▲2.2%減益となったものの、Q3としては過去2番目に高い水準を維持しました。

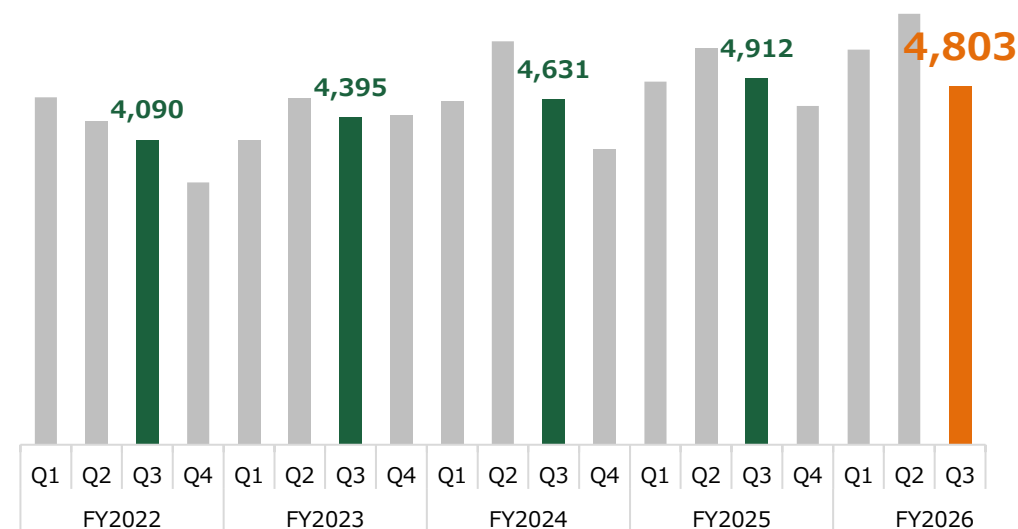
売上高推移(四半期別)

単位：百万円



売上総利益推移(四半期別)

単位：百万円



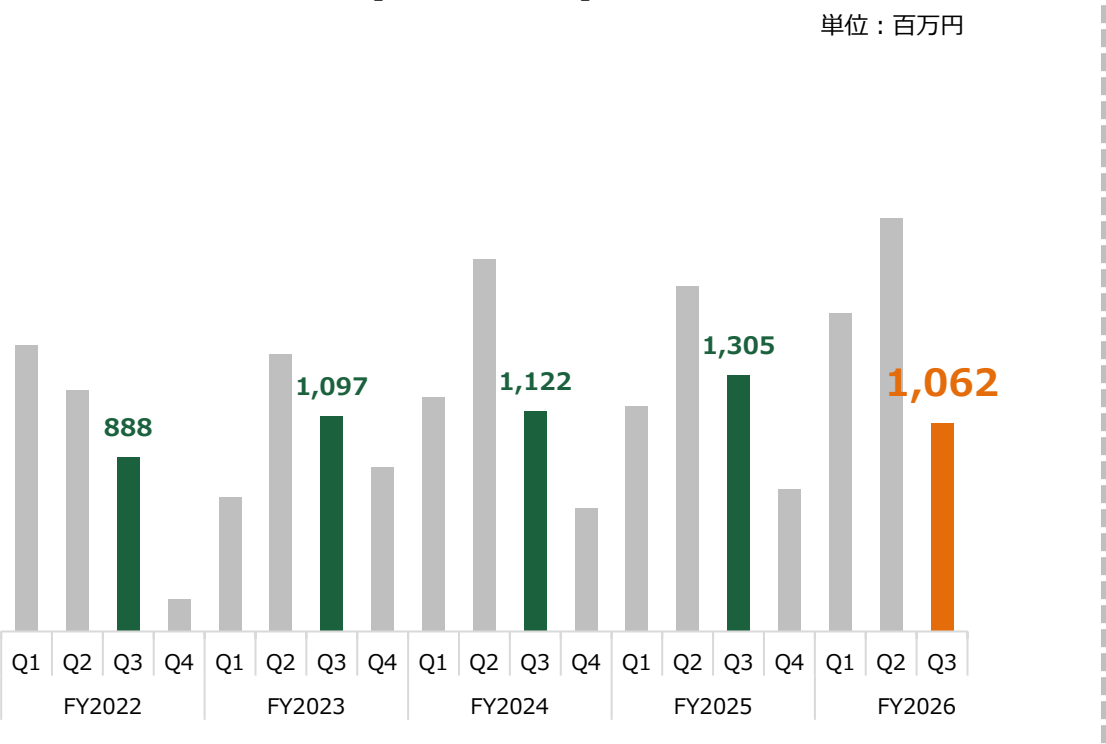
業績推移

営業利益

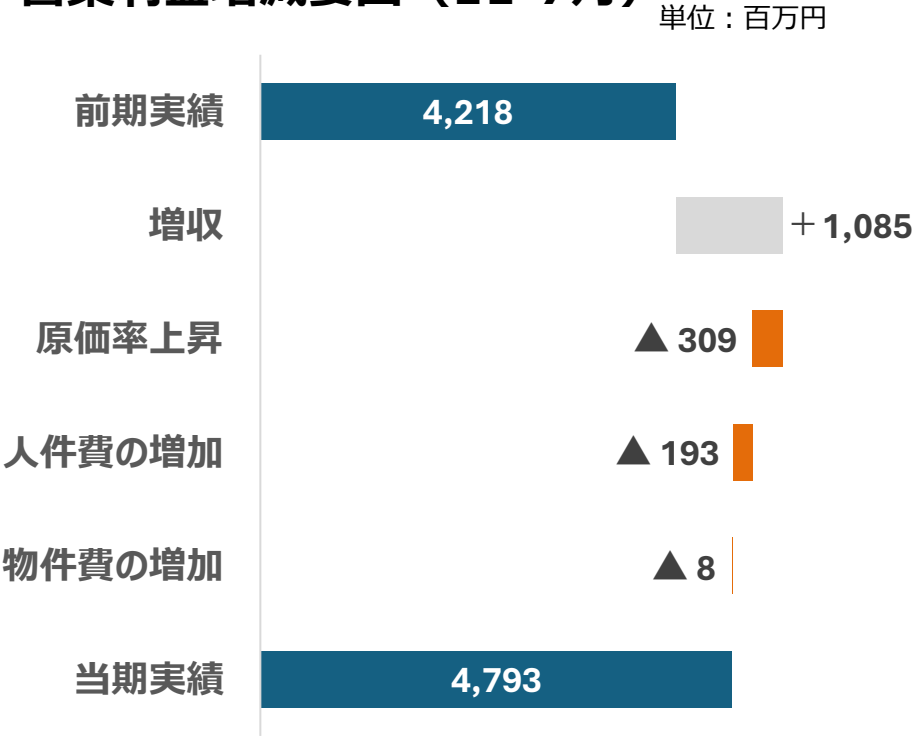


- ◆ 営業利益（5-7月）は、原価率上昇や販管費増加の影響により前年同四半期比▲18.6%の減益となりました。
- ◆ 累計では原価率上昇や販管費の増加を伴ったものの+1,085百万円の増収効果が大きく貢献し、前年同期比13.6%の増益となりました。

営業利益推移(四半期別)



営業利益増減要因（11-7月）



セグメント別事業内容

ShoEi

日本

製菓・製パン業界を中心とした食品業界向けの食品原材料（乳製品、油脂、製菓材料、乾果実、缶詰、外食用食材等）の仕入れ、加工・製造、販売を主要業務としているほか、菓子類や乾果実類（ナッツ、ドライフルーツ）のリテール商品を製造して販売。国内に7工場を所有。

米国

ShoEi Foods (U.S.A.), Inc.

- ① クルミを農家から仕入れ、殻付きまたは剥き身に加工して主に輸出
- ② プルーンの仕入と販売
- ③ 乾果実類を米国内で仕入れ、日本（当社）へ輸出
- ④ プルーン・クルミ・アーモンド農園経営
- ⑤ 乾果実類を輸入し米国内で販売

青島秀愛食品有限公司

延吉秀愛食品有限公司

- ① 製菓原材料類、乾果実類の加工・製造
- ② 加工品、製造品の日本や欧州等への輸出
- ③ 上海秀愛国際貿易有限公司や香港正栄国際貿易有限公司経由で中国・香港内での販売

上海秀愛国際貿易有限公司

香港正栄国際貿易有限公司

- ① 主に乾果実類を輸入し、中国・香港で販売
- ② 青島秀愛食品有限公司、延吉秀愛食品有限公司で加工・製造した製品を中国・香港内で販売

中国



セグメント別業績

ShoEi

単位：百万円

	売上高				セグメント利益			
	FY25/Q3	FY26/Q3	増減額	増減率	FY25/Q3	FY26/Q3	増減額	増減率
日本	82,222	86,487	+4,264	+5.1%	3,866	3,952	+85	+2.2%
米国	8,366	10,551	+2,185	+26.1%	529	921	+391	+73.9%
中国	8,475	9,685	+1,209	+14.2%	203	268	+65	+32.2%
調整額	▲ 4,539	▲ 5,404	▲ 865	—	▲ 380	▲ 349	+31	—
合計	94,526	101,320	+6,794	+7.1%	4,218	4,793	+574	+13.6%

日本

- ◆ 売上高は、原料価格上昇に対応した販売価格の上昇に加え、チョコレート加工品、製菓用焼き菓子、外食用デザート食材、リテール用ナッツ小袋品等の売上が増加したことから、前年同期比5.1%増の864億87百万円となりました。
- ◆ セグメント利益は、販売価格の上昇に加え、工場を活用した付加価値商品の販売が好調であり、売上総利益が増加したことから、同2.2%増の39億52百万円となりました。

米国

- ◆ 売上高は、主力のクルミについて価格は前年同期比で低下しましたが、豊作により受入量・販売量が増加したことから、前年同期比26.1%増の105億51百万円となりました。
- ◆ セグメント利益は、クルミ事業において販売量増により増益となり、農園事業についてもクルミ収穫量の増加により採算が改善したことから、同73.9%増の9億21百万円となりました。

中国

- ◆ 売上高は、輸入品の国内販売については景気鈍化もあり減少しましたが、中国産シード類の輸出が増加したことと前年同期比での円安による換算増もあり、前年同期比14.2%増の96億85百万円となりました。
- ◆ セグメント利益は、国内販売については減益となりましたが、輸出採算の改善と前年実施した物流や拠点間の役割分担の見直しなど採算改善に向けた取り組みにより販売費及び一般管理費が減少した結果、同32.2%増の2億68百万円となりました。

品目別の主要商品

大分類	中分類	主な商品
乳製品・油脂類	乳製品	バター、粉乳、練乳、液状乳製品、チーズ、乳糖、ホエイ
	油脂類	製菓・冷菓・製パン用油脂（マーガリン類、ショートニング等）
製菓原材料類	製菓材料	チョコレート加工品、製菓用焼き菓子、フルーツ洋酒漬（ラムレーズン他）、ピール加工品、フルーツフィリング
	栗製品	マロンペースト、栗甘露煮、マロングラッセ
	和菓子材料	さつまいも、杏仁霜、柏葉、桜漬葉
	製パン材料	上新粉、餅粉
	仕入商品	膨張剤・ゼリー、チョコ・ココア、蜂蜜・糖類、洋酒（リキュール類他）、抹茶、胡麻
乾果実・缶詰類	ナッツ&シード類	アーモンド、クルミ、マカデミアナッツ、ココナッツ、ピスタチオ、カシューナッツ、ヘーゼルナッツ、松の実、パンプキンシード
	ドライフルーツ	レーズン、プルーン、クランベリー、ブルーベリー、パイン
	フルーツ加工品	リンゴ加工品、マンゴー加工品、黄桃缶詰、パイン缶詰
	業務用食材	パスタ、スイートコーン、トマト加工品、オリーブオイル、デザート食材、冷凍フルーツピューレ
菓子・リテール商品類	菓子	チョコレート菓子、ビスケット
	リテール商品	ナッツ小袋、プルーン小袋、その他ドライフルーツ小袋、野菜加工品

品目別売上構成（11-7月）



単位：百万円

	FY25/Q3		FY26/Q3		前年同期比	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
乳製品・油脂類	29,629	31.3%	30,617	30.2%	+987	+3.3%
製菓原材料類	15,108	15.9%	15,611	15.4%	+502	+3.3%
乾果実・缶詰類	33,646	35.5%	39,117	38.6%	+5,470	+16.2%
菓子・リテール商品類	16,133	17.0%	15,956	15.8%	▲176	▲1.0%
その他	7	0.0%	17	0.0%	+10	+143.2%
合計	94,526	100.0%	101,320	100.0%	+6,794	+7.1%

乳製品・油脂類

粉乳の売上は減少しましたが、バターが輸入品、国内仕入品両方で売上増となり、また、練乳類、チーズ、乳糖等の乳製品や油脂類の売上が価格上昇もあり増加しました。この結果、乳製品・油脂類売上高は前年同期比3.3%増となりました。

製菓原材料類

マロンペーストなどの菓製品の売上は減少となりましたが、カレースプレーなどのチョコレート加工品、製菓用焼き菓子、フルーツ洋酒漬など自社加工製品やチョコレートなどの国内仕入品の売上が増加となりました。この結果、製菓原材料類売上高は前年同期比3.3%増となりました。

乾果実・缶詰類

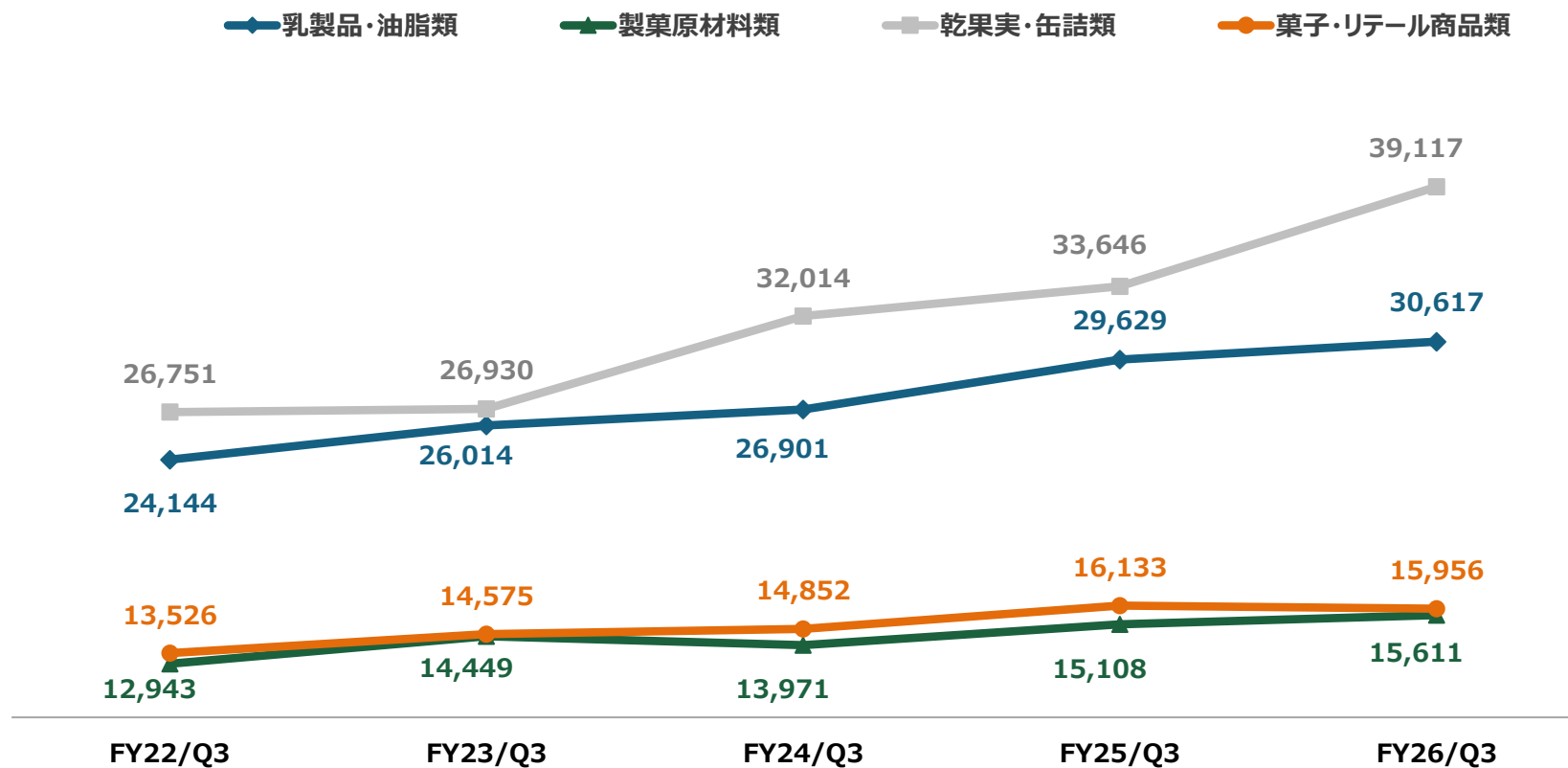
単価の上昇を反映し、アーモンド、クルミ、ココナッツ、レーズン、ピスタチオ等の日本での売上が増加しました。また、米国では単価の上昇に加え、主力のクルミが豊作のため販売量が増加しました。この結果、乾果実・缶詰類売上高は前年同期比16.2%増となりました。

菓子・リテール商品類

ナッツ小袋、プルーン小袋などのリテール商品は売上増となりましたが、販売価格の上昇による需要減もあり、NB商品を中心にチョコレート・ビスケット等の菓子類売上が減少しました。この結果、菓子・リテール商品類売上高は前年同期比1.0%減となりました。

品目別売上推移 (11-7月)

単位：百万円

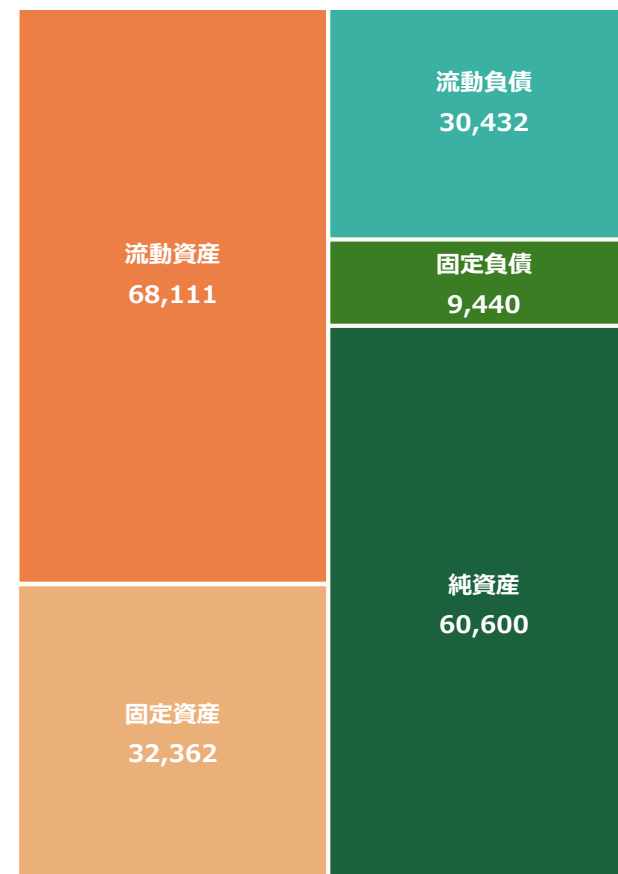


連結財政状況

- ◆ 価格上昇もあり棚卸資産が増加し流動資産は増加。基幹システム刷新の為の投資等により固定資産も増加し、資産合計は増加となりました。
- ◆ 長期借入金の調達により固定負債は増加したものの、短期借入金の返済により流動負債が減少し、負債合計は減少しました。
- ◆ 利益の内部留保に加え、円安による為替換算調整勘定の増加や保有株式の評価益により純資産は増加しました。

単位：百万円

			FY25	FY26/Q3	増減額
資 産	流 動 資 産	現金及び預金	11,505	12,149	+644
		受取手形及び売掛金	23,753	23,735	▲18
		棚卸資産	28,652	30,692	+2,039
		その他流動資産	1,852	1,533	▲318
		小計	65,764	68,111	+2,347
	固 定 資 産	有形固定資産	22,792	22,748	▲44
		無形固定資産	491	1,071	+580
		投資その他の資産	7,538	8,542	+1,004
		小計	30,822	32,362	+1,540
	資産合計		96,586	100,473	+3,887
負 債	流動負債	33,770	30,432	▲3,337	
	固定負債	6,884	9,440	+2,555	
	負債合計	40,655	39,873	▲781	
純 資 産	株主資本	48,268	50,564	+2,296	
	その他の包括利益累計額	6,559	8,835	+2,275	
	非支配持分	1,103	1,199	+96	
	純資産合計	55,931	60,600	+4,669	
負債・純資産合計			96,586	100,473	+3,887
有利子負債			22,319	21,621	▲698



I. 2026年10月期 第3四半期業績報告

II. 2026年10月期 業績予想

2026年10月期 業績予想



◆ 2026年6月発表の業績予想から変更はありません。

単位：百万円				
	FY25	FY26	増減金額	増減率
	実績	予想		
売上高	124,897	130,000	+5,103	+4.0%
営業利益	4,942	5,800	+858	+17.3%
経常利益	4,992	5,800	+808	+16.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,035	4,000	+965	+31.7%
1株当たり当期純利益	181円31銭	241円33銭	—	—
為替レート	：米ドル	148.88円	155.00円	
	：中国元	20.88円	22.00円	
	：香港ドル	19.13円	20.00円	

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。